

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス十三駅前教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年10月6日			2026年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年11月14日			2025年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会性の向上を目指すプログラムの提供ができるている 毎日合計90分～120分のプログラム提供時間を設定し、テーマに沿った様々な活動を提供できるようにしている。	・個別支援計画と全体の目的を意識した効果的な集団プログラムを提供できるよう、日頃より職員相互で連携しながら支援にあたっている。	・定期的な研修や外部研修の活用を強化し、職員の専門性を高める施策を継続していく。
2	ご家族からのニーズを聞き取りできている 定期的な保護者面談では十分な時間を確保し、しっかりと日頃の課題やニーズを聞き取りするようにしている。	・面談には児童発達支援管理責任者に加えて、指導員も同席することで、事業所での様子も細かくお伝えし、課題感の相互理解を図るようにしている。	・日々の送迎の際に十分な情報交換の時間が確保できていないため、臨時面談を設定する等により頻繁にご家族のお話を伺う時間を確保する。
3	非常時の対応に備えている 各種対応マニュアル等を整備して非常時に備えたり、定期的な防災訓練の実施をしたりできている。	・年間計画を策定して、計画的に非常時対応のための研修や訓練を実施するようにしている。	・対応マニュアルについてのご家族への周知が不十分であるので、教室玄関スペースに見やすくまとめる等の工夫をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの広さが十分に確保できていない 指導訓練室は基準は満たした広さにはなっているものの滞在人数によっては狭く、活動内容に制約が出ることがある。	・事業所の構造的な課題	・活動内容に応じて柔軟にレイアウトを変えたり、座席配置の工夫をすることで、活動内容との両立を図るようにしていく。
2	職員の総数 基準を満たした配置はできているものの、人員に余剰がなく、ご利用者様の受け入れに制約が出ている。	・職員の定期的な採用ができていない。 ・職員の定着のための取り組みが不十分。	・職員の資質向上のためのプログラムをさらに充実させ、安心して入職できる環境を整備する。 ・ボランティアや実習等を積極的に受け入れ、療育支援の魅力が伝わるようにしていく。
3	保護者同士の交流の機会 保護者と事業所との接点は多い一方で、保護者同士の交流の機会を作ることができない。	・どのような形での交流の機会にニーズがあるのかを把握できていない。 ・日々の支援で手一杯となっており、交流の機会を作る検討に時間を割くことができない。	・保護者同士の交流について、ニーズの聞き取り調査を行う。 ・「弱み2」の改善と合わせて余剰時間を作り、会の企画ができるようにする。